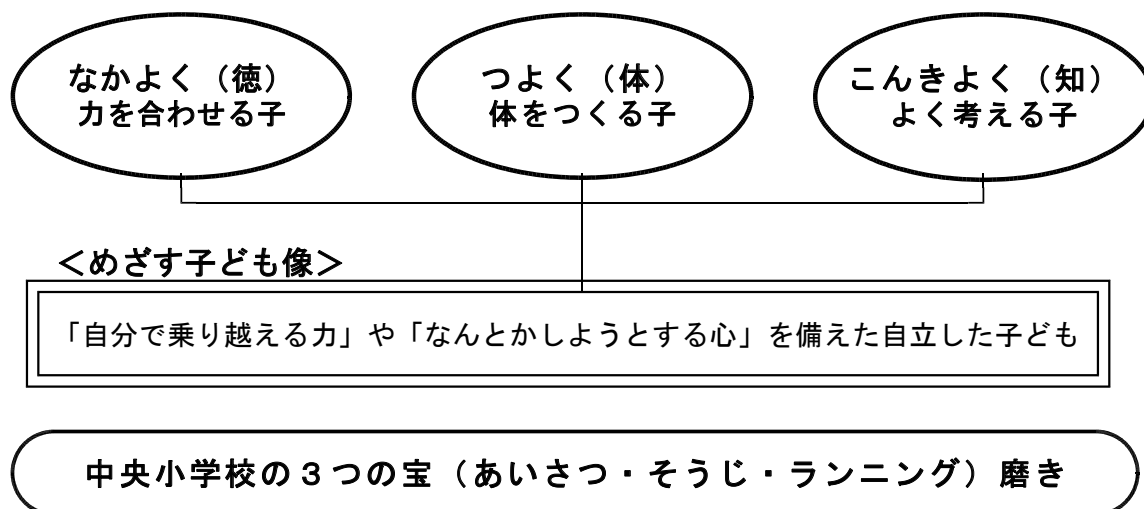


1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「なかよく・つよく・こんきよく」のもと、見えない根っこ（プラスの心）を育てることで、「自分で乗り越える力」や「なんとかしようとする心」を備えた自立した子どもを育てる。

< 校 訓 >



(2) 経営方針

- ア 家庭・地域と連携し、お互いに見えない部分やできない部分を助け合い、支え合うことのできるコミュニティ・スクールの基盤をつくる。
- イ 子ども一人一人に寄り添った教育活動を推進し、全職員が「チーム中央」として、自分で考え、動き出すことのできる子どもの育成に努める。
- ウ 常に自己研鑽に励み、指導力向上を図るとともに、仲間と学び合い、深め合うことのできる「楽しい授業」づくりに努める。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 見えない根っこの部分（プラスの心）を育てる。
 - ・子ども自身が理解できるように見える化し価値づけることで、子どもの自己肯定感を高める。
 - ・家庭、地域、学校で、子どもたちの良さを伸ばしていく。
 - ・一人一人の把握とその子に寄り添った指導を心がける。
- イ 子どもたちにたくさんの経験をさせる。
 - ・「失敗は成功」経験を認め、少しの壁にもチャレンジし乗り越えることのできるよう自己効力感を高める。
- ウ 子どもたちに任せ、考えさせる。
 - ・場を与え、多様な考えをもつ仲間と話し合い、折り合いをつけながら、自分たちでやりきらせ、成就感を味わわせる。
- エ 伝統である3つの宝「あいさつ・そうじ・ランニング」を磨き続ける。
 - ・「あいさつ」を通して「なかよく」するためのコミュニケーション能力を、「ランニング」を通して「つよく」なるための体力と心を、「そうじ」を通して「こんきよく」なるための粘り強さを日々の生活の中で鍛える。
- オ 働き方改革にかかる業務改善
 - ・教育的効果を検証しながら教育活動を見直し、共通理解を図りながら、改善を進める。
 - ・地域連携やOJTの活用、働きやすい環境整備など、持続可能である働き方改革を進める。